

令和2年自由民主党青年部・青年局活動方針

令和2年8月21日（金）
自由民主党青年部・青年局

本年の青年部・青年局は、これまでの活動の積み重ねの上に立ち、自らを政策実践集団として再定義し、地域課題解決に注力していく。

私たちは、46名の国会議員、1327名の地方議員、28の学生部をはじめとした22万人の青年党員を擁する全国組織である。

この仲間が党本部や各地域で練り上げた政策を現場で実践し、結果を出すことで、地方から日本を塗り替えることができる。

そのための土台として、情報共有の促進を目的に、組織の徹底的なデジタル化を図る。具体策として、青年局イントラネットを開設し、党本部から提供する情報を質・量の両面で飛躍的に向上させるとともに、動画配信による政策解説を行っていく。あわせて、ペーパーレス化をより一層進めるとともに、これまで試験的に開催してきたweb会議を全県対象に定期的で開催する。web会議では重要事項について協議し、意思疎通を図ることでこれまでにないスピーディな意思決定と活動を可能にする。

具体的な活動として、次の四点に重点を置く。

第一として、災害対応能力の強化を図る。“復興を担うのは私たち青年世代”との気概のもとでこれまでに40回実施してきた被災地訪問事業「TEAM-11」を発展的に改組し、平常時の情報共有、災害発生時の情報収集・伝達、発生後の訪問事業を柱とする「NEXT-11」を展開する。平常時には、いまや必須の情報インフラとなったSNSの

活用法や災害対応ノウハウなどについて研修する機会を充実させる。災害発生時にはそれらの情報をもとに住民の生活の安全や安心確保に迅速に対応し、情報収集・伝達に努める。災害発生後にはできる限り速やかに「TEAM-11」を実施し、実態や課題をより直接的に把握できるよう努めるとともに実質的な支援を行う。

第二に、政策課題や全国の好事例などの情報共有をもとに、各級議会での質問や民間人による経済活動・地域活動を通じて課題解決に取り組む「青年局政策実践プロジェクト」を強かに展開する。また、各地での活動を青年局ホームページで積極的に公開していく。

第三に、断交以来、青年局の先人たちが築き上げてきた台湾との関係について、より実質的な形で絆を深めていく。具体的には、日本から台湾への訪問者数の増加をめざし、全国で修学旅行による訪台を働き掛けていくとともに、経済的な交流の促進に資する活動も検討していく。

第四として、党組織の両輪である女性局との共同事業を重視し、憲法改正へ向けた啓蒙活動や若年層への政治参画を促す活動などを積極的に展開していく。

自由民主党が山積する世の中の課題を解決し結果を出すことが、国民に「政治に関われば地域や国の未来を変えることができる」という政治のダイナミズムを共有し、ひいては政治参画を促し、党員の増大や各級選挙での勝利を通じた党勢拡大に繋がる。青年部・青年局、学生部は政策実践集団としてその中心で活躍していくことを決意し、本年の活動方針とする。